

表彰区分	マロニエ建築賞	
作品名	吉田村 Village	
所在地	下野市本吉田 784	
用途	ホテル・飲食店（パン屋）・物品販売業を営む店舗	
建物概要	構造：S造、一部W造	敷地面積：785.74 m ²
	階数：地上2階、地下0階	延べ面積：418.60 m ²
建築主	栃木県下野市下古山 1004-1 一般社団法人 シモツケクリエイティブ	
設計者	栃木県小山市犬塚 1-5-25 有限会社 アトリエ慶野正司一級建築士事務所	
施工者	栃木県下野市石橋 253 株式会社 小林工業	

講評

地域の農協であった跡地に残る築80年の大規模な大谷石蔵を物販店舗や宿泊施設に改修するプロジェクトである。構造を組積造から鉄骨造へと変更して大谷石壁を帳壁として扱うことで、外見上はかつての村のシンボルである石蔵をそのままの形で生かしながら、内部は地域住民と来訪者をつなぐ拠点として新たな魅力を創出する空間に転換されている。県内に多数残り地域のアイデンティティになっている大谷石蔵の有効活用を考える上で優れた参考事例になり得ると同時に、スクラップアンドビルドを避け長く使われてきた建築物を大切に生かすことで、地域文化の継承、脱炭素社会やSDGsの実現に着実な貢献をしている。また、注目されるのは、地域コミュニティの長期的なあり方を見据えた問題意識の中で、地域有志グループと設計者が手を携えて立案されたプロジェクトということである。8年前に隣接する旧農協事務所をイタリアンレストランに改修するところから始まり、今回へとつながる旧農協跡地改修プロジェクトが敷地内に止まらず、かつて吉田村として存在した周辺地域を巻き込んで地域価値を高めていく今後の展開への足掛かりとして計画されていることを含め高く評価された。

